

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成31年3月7日 (2019.3.7)

【公開番号】特開2017-134632(P2017-134632A)
 【公開日】平成29年8月3日 (2017.8.3)
 【年通号数】公開・登録公報2017-029
 【出願番号】特願2016-14013(P2016-14013)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 3/0484 (2013.01)

G 0 6 F 3/0488 (2013.01)

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 3/0484

G 0 6 F 3/0488

H 0 4 N 5/225 F

【手続補正書】

【提出日】平成31年1月22日 (2019.1.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 6 】

上述した課題を解決するために本発明は、
 表示手段及びタッチ操作手段を備える表示装置であって、
 当該表示装置の傾き方向又は傾き量を検出する検出手段と、
 前記タッチ操作手段へのタッチ操作により動作する所定の機能に係る情報であって該タッチ操作が行われる前にはユーザが視認できない情報を、前記検出手段により検出された傾き方向又は傾き量に応じて異なるように、前記表示手段に表示する制御を行う表示制御手段と、
 を備えることを特徴とする。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

表示手段及びタッチ操作手段を備える表示装置であって、
 当該表示装置の傾き方向又は傾き量を検出する検出手段と、
 前記タッチ操作手段へのタッチ操作により動作する所定の機能に係る情報であって該タッチ操作が行われる前にはユーザが視認できない情報を、前記検出手段により検出された傾き方向又は傾き量に応じて異なるように、前記表示手段に表示する制御を行う表示制御手段と、
 を備えることを特徴とする表示装置。

【請求項 2】

前記表示制御手段は、前記検出手段により所定の傾き方向又は傾き量が検出される前の傾き方向又は傾き量に戻ったことが検出されたことに応じて、前記表示手段に表示してい

た情報を消去して、前記所定の傾き方向又は傾き量が検出される前の表示に戻す制御を行う、

ことを特徴とする請求項 1 に記載の表示装置。

【請求項 3】

前記表示制御手段は、前記検出手段により検出される傾き量に応じて、前記ユーザが視認できない情報の量が異なるように前記表示手段に表示する制御を行う、

ことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の表示装置。

【請求項 4】

前記表示制御手段は、前記検出手段により検出された傾き方向に応じて、前記ユーザが視認できない情報であって異なる情報を、前記表示手段に表示する制御を行う、

ことを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の表示装置。

【請求項 5】

前記タッチ操作手段へのタッチ操作により動作する機能は、該タッチ操作が行われる前にユーザが視認できないオブジェクトを呼び出す機能であり、

前記表示制御手段は、前記検出手段により所定の傾き方向又は傾き量が検出されたことに応じて、前記オブジェクトを呼び出して前記表示手段に表示する制御を行う、

ことを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の表示装置。

【請求項 6】

前記表示制御手段は、前記検出手段により所定の傾き方向又は傾き量が検出されたことに応じて、前記オブジェクトの一部分を、前記表示手段に表示する制御を行う、

ことを特徴とする請求項 5 に記載の表示装置。

【請求項 7】

前記タッチ操作手段へのタッチ操作により動作する機能は、複数の画像の中からタッチ操作毎に所定の順序にしたがって順次指定された画像を前記表示手段に切り替え表示する画像送り機能であり、

前記表示制御手段は、前記表示手段に画像が表示されている場合に、前記ユーザが視認できない情報として画像送りが可能な画像の量を、前記検出手段により所定の傾き方向又は傾き量が検出されたことに応じて、前記表示手段に表示する制御を行う、

ことを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の表示装置。

【請求項 8】

前記表示制御手段は、前記表示手段に画像が表示されている場合に、前記画像送り機能によって順方向に画像送りが可能な画像の量、又は逆方向に画像送りが可能な画像の量を、前記検出手段により所定の傾き方向が検出されたことに応じて、前記表示手段に表示する制御を行う、

ことを特徴とする請求項 7 に記載の表示装置。

【請求項 9】

前記表示手段に表示されている画像は静止画像であり、

前記表示制御手段は、前記表示手段に静止画像が表示されている場合に、前記画像送り機能によって画像送りが可能な静止画像の数を、前記検出手段により所定の傾き方向又は傾き量が検出されたことに応じて、前記表示手段に表示する制御を行う、

ことを特徴とする請求項 7 又は 8 に記載の表示装置。

【請求項 10】

前記表示手段に表示されている画像は動画像であり、

前記表示制御手段は、前記表示手段に動画像が表示されている場合に、前記画像送り機能によって画像送りが可能な動画像の残り時間を、前記検出手段により所定の傾き方向又は傾き量が検出されたことに応じて、前記表示手段に表示する制御を行う、

ことを特徴とする請求項 7 又は 8 に記載の表示装置。

【請求項 11】

表示手段上にタッチ操作手段を備える表示装置であって、

前記タッチ操作手段へのタッチ操作により動作する所定の機能に係るオブジェクトであ

って該タッチ操作が行われる前にはユーザが視認できないオブジェクトを、前記所定の機能の起動指示に応じて、前記表示手段に一時的に視認可能に表示する制御を行う表示制御手段を備える、

ことを特徴とする表示装置。

【請求項 1 2】

表示手段及びタッチ操作手段を備える表示装置における表示制御方法であって、

当該表示装置の傾き方向又は傾き量を検出する処理と、

前記タッチ操作手段へのタッチ操作により動作する所定の機能に係る情報であって該タッチ操作が行われる前にはユーザが視認できない情報を、検出された傾き方向又は傾き量に応じて異なるように、前記表示手段に表示する制御を行う処理と、

を含むことを特徴とする表示制御方法。

【請求項 1 3】

表示手段及びタッチ操作手段を備える表示装置のコンピュータに対して、

当該表示装置の傾き方向又は傾き量を検出する機能と、

前記タッチ操作手段へのタッチ操作により動作する所定の機能に係る情報であって該タッチ操作が行われる前にはユーザが視認できない情報を、検出された傾き方向又は傾き量に応じて異なるように、前記表示手段に表示する制御を行う機能と、

を実現させるためのプログラム。

【請求項 1 4】

表示手段及びタッチ操作手段を備える表示装置における表示制御方法であって、

前記タッチ操作手段へのタッチ操作により動作する所定の機能に係るオブジェクトであって該タッチ操作が行われる前にはユーザが視認できないオブジェクトを、前記所定の機能の起動指示に応じて、前記表示手段に一時的に視認可能に表示する制御を行う処理、

を含むことを特徴とする表示制御方法。

【請求項 1 5】

表示手段及びタッチ操作手段を備える表示装置における表示制御方法であって、

前記タッチ操作手段へのタッチ操作により動作する所定の機能に係るオブジェクトであって該タッチ操作が行われる前にはユーザが視認できないオブジェクトを、前記所定の機能の起動指示に応じて、前記表示手段に一時的に視認可能に表示する制御を行う機能、

を実現させるためのプログラム。